

うまし、たくまし、 登米市の農林産物をどうぞ

9月26日仙台市青葉区の勾当台市民広場で「登米おいしいもの市（登米市、登米市農産加工者連絡協議会主催）」が、開催された。

市内の生産者グループや道の駅などに店出している17事業者が、地元で生産された安心・安全なお米や、旬の野菜、キノコなどの農林産物と、味噌・しそ巻きなど加工品を一堂に集めてPRと販売が行われた。



参加団体には、市内の米川小学校5・6年生の「みどりの少年団」もおり、この少年団が、6月に学校が借りている山に、ふせ込み作業をして当日の朝に収穫した舞茸を、団員13人が元気よく売り込み来場者が大勢集まっていた。

また、「登米市4Hクラブ」からは、新鮮野菜や耕作放棄地を活用して栽培した蕎麦粉の販売をした。

さらには、「ササニシキ」と「ひとめぼれ」の食べ比べが行われ、炊き立ての新米が振る舞われた。



訪れた参加者からは「新鮮でおいしい」「故郷の味を思い出す」などの声が多く聞かれた。

これからも「登米市おいしいもの市」が、生産者と消費者の交流、情報交換の場となることが期待されている。